

本居宣長顕彰短歌大会

松阪の生んだ偉大な国学者・本居宣長(1730~1801)は、広く日本の古典を研究し、

人と歌との密接な関わりを明らかにし、歌を詠むことは、人の心を理解する上で最も大事なことだと考えました。

何より、宣長にとって歌を詠むことは、大きな楽しみでもあり、その生涯に詠んだ歌は一万首を数えます。

「本居宣長顕彰短歌大会」は、短歌を詠むことで、歌をこよなく愛した宣長の遺徳をしのぶとともに、

歌に親しみ、また歌を通して日本の文化に触れていただこうとする行事です。

令和3年

11月20日(土) 13:00~

松阪市産業振興センター3階研修ホール

短歌大会

投稿料

無料



短歌大会

内容

大会当日、作品の入選者表彰および選者による作品批評

日時

令和3年11月20日(土) 13:00より

会場

松阪市産業振興センター3階研修ホール

参加

事前予約が必要です。

[参加予約] 令和3年11月13日(土)までに記念館にお申し込みください。

主催

本居宣長記念館

共催

松阪短歌会

後援

松阪市・松阪市教育委員会・三重県歌人クラブ

選者 歌人 小島ゆかり先生



主な歌集

「希望」「憂春(ゆうしゅん)」

「雪麻呂(ゆきまる)」など

2017年 歌集「馬上(ばじょう)」で

芸術選奨文部科学大臣賞

2017年 紫綬褒章受賞



本居宣長記念館

Museum of Munakata Norinaga

<https://www.norinagakinenkan.com/>

本居宣長記念館

検索